

大学生のための着物コーディネート写真集の製作

著者	速水 薫, 川守田 礼子
著者別名	HAYAMIZU Kaoru, KAWAMORITA Reiko
雑誌名	八戸工業大学紀要
巻	39
ページ	90-93
発行年	2020-03-03
URL	http://doi.org/10.32127/00003952



大学生のための着物コーディネート写真集の製作

速水 薫[†]・川守田 礼子^{††}

Creation of Photo Book of Kimono Coordination for University Students

Kaoru HAYAMIZU[†] and Reiko KAWAMORITA^{††}

ABSTRACT

For the purpose of conveying attractiveness of Kimono culture to the student generation, we create a photo book proposing coordination to university students to casually enjoy Kimono as their plain clothes.

Key Words: Kimono, photo book, university students

キーワード: 着物, 写真集, 大学生

1. はじめに

本研究では、若年層に着物文化の魅力を伝える活動として「大学生が私服としてカジュアルに着物を楽しむためのコーディネートブック」をコンセプトとした写真集製作を行う。若年層を中心に着物離れが激しいという現状に対し、もっと着物文化の魅力を知ってほしい、着物を着てほしいという動機に基づき、学生の日常着としての着物の着こなしを提案する。その方法としてビジュアル表現が有効と考え、写真集を製作することとした。従来の着物本の多くは着物の着方やルールに関する情報を中心に編集されている。また着物写真集はモデル着用の整ったスタイル提示が主で、若年層が日常シーンで実際に着るためのイメージやノウハウが不足している。本写真集では、着物を日常着とする大学生をモデルに大学で撮影を行うこととした。

2. 調査・分析

着物文化の変遷に関して文献調査を行った。伊藤元重・矢嶋孝敏『きもの文化と日本』ほかによると、大正時代までは日常着として着物を着用していたことが分かる。しかし、1940年（昭和15年）七・七禁止令で西陣織などの高価な着物や帯の販売が禁止されたこと、戦時中は機能性の最優先とファッション性の否定がなされたことから着物離れが始まる。1970年代、衣服のイージー化が始まり、動きやすく安価でカジュアルなものが選ばれる時代になり、現代のファストファッションの流行へとつながっていく。着物業界は日常着から晴れ着販売に転換するが、着物の需要の減少には歯止めがかからなかった。現代では、成人式・卒業式などのセレモニーシーンでの着物（晴れ着）着用は、若年層を中心にむしろ定着傾向を示しているが、日常着としての着物着用習慣はほぼ消滅したといっている。

こうした着物離れの要因となっている着物の問題点として、①値段が高い、②アイテムが多い、③着用が難しい、④ルールが難しい、

令和1年12月9日受付

[†] 感性デザイン学部創生デザイン学科・4年

^{††} 感性デザイン学部創生デザイン学科・准教授

⑤アフターケアが大変という点が挙げられる。これらを整理すると「分かりにくさ」「着にくさ」「買にくさ」の三点にまとめられる。本研究ではこの三つのポイントを次のように改善した着物スタイルを提案する。

(1) 分かりにくさ

着物まわりのアイテムが多く、何をどのように合わせればよいのか分からないという点に対して、使用するアイテムを限定した。夏季用の単衣（ひとえ）着物、春秋冬季用の袷（あわせ）着物各一枚を使用し、帯合わせやコーディネートで変化を付けることとした。着こなしの軸になる着物を一枚に限定することで、着物初心者にも分かりやすくした。帯は、袋帯や名古屋帯に比べ初心者でも扱いやすく、帯締めや帯揚げなどの小物を必要としない半幅帯や兵児帯を中心に組み合わせ、着物は帯との柄合わせが容易で季節を問わない格子や縞などの幾何学模様の木綿着用を使用することとした。

(2) 着にくさ

着付けの簡略化を図る工夫として、簡単な帯の結び方（半幅帯によるカルタ結びや文庫結び）や襦袢の省略（洋装と共通した下着の活用）、履き物のバリエーション（サンダルや靴の活用）を紹介することとした。また、木綿着物は、正絹着物に比べしっかりした風合いを持つため、初心者でも比較的着付けがしやすい。生地が丈夫なため、活動の多い学生の日常着として機能的にも適している。

(3) 買にくさ

正絹の着物や帯は高価で初心者が入手しにくいため、比較的安価で手入れしやすい木綿着用を使用することとした。最近では、木綿着物を扱っている呉服店やネットショップも増えており、洋服と同様の感覚で手軽に購入できるプレタサイズも展開されている。

3. 製作

3.1 構成

写真集は単衣着物編および袷着物編分冊の計二冊を製作する。コート紙使用の中綴じ製本で、仕上がりサイズはA4版縦型のフルカラー印刷、表紙除き各28ページとする。表1.2に各写真集の構成を示した。

表1 単衣着物写真集の構成

頁数	内容	シーン
	表紙	
1	はじめに：コンセプト	
2-5	コーデ①：博多献上のカルタ結び	図書室 読書 階段 廊下
6	コーデ②：ブルー兵児帯とイヤリング	PC室 課題
7-10		海浜公園 散策
11-12	コーデ③：ピンク麻帯の文庫結び	部室 昼食
13	コーデ④：半幅帯に帯締め・帯揚げ	ゼミ室 研究
14	コーデ⑤：割烹着	講義室 実習
15-16	コーデ⑥：ピンク麻帯のカルタ結び	ジャズ鑑賞
17-18		蕪島神社 散策
19-20	コーデ⑧：ヘアスタイルのアレンジA	ゼミ室 談話
21	コーデ⑨：ヘアスタイルのアレンジB	遊歩道 散策
22	コーデ⑩：素足にサンダル	湧水場 散策
23-24	コーデ⑪：コマ浴衣に半幅帯	バー 飲み会
25-27	着物解説：衿合わせ、着用後のケア	
28	あとがき	
	裏表紙	

表2 袷着物写真集の構成

頁数	内容	シーン
	表紙	
1	はじめに：コンセプト	
2-10	コーデ①：ワイシャツインにブーツ	大学構内 散策
11-13		バス停 通学
14	コーデ②：半幅帯の文庫結び	学園祭 受付
15	コーデ③：兵児帯にブローチ	学園祭 茶会
16-18	コーデ④：名古屋帯に帯締め・帯揚げ	模擬店 展示
19-22	コーデ⑦：半幅帯に革ベルト	ロビー 談話
23-27	着物解説：下着や履物、帯結び	
28	あとがき	
	裏表紙	

3.2 撮影

モデルは筆者、撮影者は友人が担当し、単衣着物は7月、袷着物は10・11月に、八戸工業大学キャンパス内および八戸市内で撮影を行った。カメラはCanonのPowerShot A1000ISとiPhone8を使用した。撮影した写真を選別後、画像編集ソフトPhotoshopを使用し加工した後、デザインソフトIllustratorを使用し製本データを編集した。印刷・製本は西岡総合印刷株式会社が行った。

3.3 完成作品

完成した写真集『大学生Kaoruの日常着物～単

『大学生Kaoruの日常着物～着物コーデ～』である（写真1）。コーディネート写真ページには、大学生活シーンにおけるコーディネート内容や着こなしの工夫に関する簡潔な紹介文を付した（写真2）。着物解説ページでは、初心者向けに着付けや帯結び、着用後のケアに関する情報を分かりやすく解説した（写真3）。



写真1 完成した写真集（表紙）



写真2 コーディネート写真ページ例



写真3 着物解説ページ例

4. おわりに

本製作を通し、着物を着て大学生活を送る具体的なイメージを写真集という形式で伝えることができた。初心者が着物に抱くハードルの高さは情報量の多さと細かさに因るところが大きい。写真集に収録する着物スタイルおよび解説コンテンツの決定に際し、膨大にある着物情報を整理し取舍選択する点に苦労したが、メインアイテムを限定する、洋装アイテムを利用する、着方の正確さはあえて追求しないという方針で進めた。本写真集を活用して、着物を日常着として取り入れるという実行動にどのように結び付けていくのかは今後の課題となる。全国各地で展開されている着物イベントの傾向などを調査分析したうえで検討したい。

謝辞

撮影にご協力くださった方々に改めて厚く御礼申し上げます。

参考文献

- 1) 伊藤元重・矢嶋孝敏：きもの文化と日本, 日本経済新聞出版社, 2016
- 2) 佐藤泰子：日本服装史, 健信社, 1992
- 3) 長崎巖監修：日本人の衣服, 岩崎書店, 2004
- 4) 城一夫・渡辺直樹：日本のファッション 明治・大正・昭和・平成, 青幻舎, 2007
- 5) 美しいキモノ, ハースト婦人画報社
- 6) きもの Salon, 世界文化社
- 7) 七緒, プレジデント社
- 8) Fd (エフ・ディ)：紅絹キモノガールズグラフィティ, 株式会社エフ・ディ, 2010
- 9) シーラ・クリフ：SHEILA KIMONO STYLEーシーラの着物スタイルー, 東海教育研究所, 2018
- 10) 君野倫子：気軽で便利! 半幅帯結び 楽しみ帖, 池田書店, 2014
- 11) 西岡総合印刷株式会社：<https://www.nishioka.co.jp/> (最終アクセス：2019年12月9日)

要 旨

着物文化の魅力を学生層に伝えることを目的として、大学生が私服としてカジュアルに着物を楽しむためのコーディネートを提案した写真集製作を行う。

キーワード: 着物, 写真集, 大学生